令和7年2月10日 第4回住宅対策審議会 資料2

長野市第四次住宅マスタープランの策定について (長野市住生活基本計画)

2025年 2月 10日

FEEL NAGANO, BE NATURAL

この街で、わたしらしく生きる。長野市

住宅 マスター プラン について

住宅マスタープランとは

国の住生活基本計画や長野県住生活基本計画を基に、地域課題を加味して策定する住民の**住生活の安定の確保**及び**向上の促進**に関する基本的な方向性を示すもの

主な施策内容(第三次マスタープラン後期計画での内容)

【テーマ1】誰もが安心して暮らせる住まい・住環境づくり

子育て世帯と高齢者の安全・安心居住

【テーマ2】住宅セーフティネットの充実による居住の安定確保

公営住宅の整備による計画的な供給と安心居住の実現

【テーマ3】快適で良質な住まい・住環境づくり

住宅の耐震化と省エネルギー化の促進

【テーマ4】地域の魅力を生かした住環境づくり

移住・定住の促進

H11年 3月 策定

第一次住宅マスタープラン(計画期間:H11~22年度) H10年のオリンピック・パラリンピック大会による住宅事情の変化 H11年4月の中核市への移行により策定

H18年 3月 策定

第二次住宅マスタープラン(計画期間:H18~28年度) H17年1月の4町村合併を踏まえ、新たな計画として策定

H24年 1月 策定

第二次住宅マスタープラン後期計画 (計画期間:H23~28年度) 策定から5年が経過し、H22年1月の2町村合併を踏まえた見直し

H30年 2月 策定

第三次住宅マスタープラン(計画期間:H29~38年度) 計画期間を踏まえ、新たな計画として策定

R 4年 3月 策定

第三次住宅マスタープラン後期計画 (計画期間:R4~8年度) 策定から5年が経過し、住生活基本法の改正に伴い見直し

原則として、5年毎に中間見直しを行い、10年毎に全面見直しを行う

第四次住宅マスタープラン

(計画期間:R9~18年度)

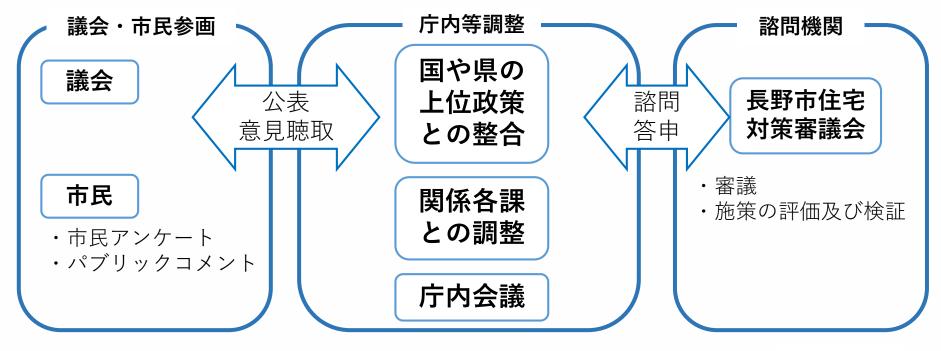
施策内容の見直しについて

1. 上位政策や計画の変化

- 国と県の住生活基本計画の5年毎の見直しと整合を図りながら、本市の特性、 地域性に配慮し、市民の意向が反映された計画への見直し
- 住宅セーフティネット法の改正、関係法令の整備に伴う計画への見直し

2. 住宅・居住環境を取り巻く環境の変化や新たな課題

- 結婚を望む若者の逓減
- 正社員共働き子育て世帯の急増
- テレワークの普及
- 移住・定住に加え、多拠点居住の普及
- 市民ニーズの多様化・高度化
- 既存住宅流通量の増加(新築住宅の減少傾向、既存住宅流通量の増加傾向)
- 住宅確保要配慮者の**増加**
- ストック社会を支える技術者・技能者の担い手不足
- 切迫する自然災害の現状
- カーボンニュートラル社会
- すべての新築住宅で省エネ基準適合の義務化
- 分譲マンションストック戸数の増加



長野市第四次住宅マスタープランの策定 (長野市住生活基本計画) 計画期間 令和9~18年度

調整事項

- 総合計画
- 都市計画
- 耐震計画
- •環境計画
- ・空家対策など

スケジュール(案)

	令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	12月~3月	4月~7月	8月~11月	12月~3月	4月~7月	8月~11月	12月~3月
長野市 第四次住宅 マスター プラン	業務委託準備	選定	表 は で で で で で で で で で で で で で で で で で の で の で の で り で り	品 報	指標・施策 マスタープ		策定
長野市住宅対策審議会	審議会委員 任期2年間 (R6.6.1~R8.5.31)				審議会委員 任期2年間 (R8.6.1~R10.5.31)		
		諮問					答申
議会関係		議会説明				議会説明	議会説明
上位計画	第五次長野市総合計画 (H29~R8年度)						
	住生活基本計画(全国計画)(R3~R12年度)						
		長野県住生活基本計画(R3~R12年度)					